

情報連絡員だより

－令和2年3月の報告より－

新型コロナウイルスを原因とした
業況悪化が続く

業種 / 景況天気図		概況
全	体	新型コロナウイルスを原因とした業況悪化が続く。全体の天気図が「雨」となるのは、東日本大震災により経済の混迷が続いていた平成23年7月以来8年8ヶ月ぶり。窯業・土石製品、建設業は持ち堪えているものの、他の業種では大打撃となる。いつ終息するか見通しが立たず、今後について強い不安感を抱いている。
製 造 業	食 料 品	パンは、学校給食中止・外出自粛等が重なり未だかつてない落ち込みとなり、先行きが全く読めない状況。菓子は、卒業式・入学式・法事等での注文キャンセルが相次ぎ業況悪化。食肉は、豚肉の需要は安定しているものの、牛肉の消費低迷を要因として売上が減少している。製麺・酒造は、業務用の需要減が著しい。
	織 維 ・ 同 製 品	桐生織物は、売上・収益の悪化に伴い業況悪化。ニットは、オーダー数減少、注文キャンセルが出てきており、サンプルの依頼も減少。繊維製品は、今後倒産する組合員が多発することを懸念。伊勢崎織物は、イベントが中止になるなど閉塞感があるものの、現状、業況に大きな変化はみられない。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	コンクリートブロックは、中国からの輸入品の納期遅れが発生し、今後を不安視。生コンは、県央部への出荷が減少しているが、全体では前年並み。砂利は、出荷量増加、販売価格微増となるも、諸経費の値上がりにより収益悪化。碎石は、吾妻は災害復旧工事、東毛は堰堤工事で需要増となるが、全体では前年並みに推移。
	機 械 ・ 金 属	鍍金は、取引先の生産停止により業況悪化、休業対応を余儀なくされる状況となることを懸念。自動車関連は、大手メーカーの操業停止決定にあわせて稼働を停止せざるを得ず、資金繰り悪化は免れない様相。下請企業はパニック状態。一部で、仕事量が3～4割減となった組合員もある模様。電機関連は、不調が継続。
	そ の 他 の 製 造 業	木材は、住宅建築資材不足の影響を受け荷動きが悪化し、販売価格が大幅に下落している。紙加工品は、国内の大量在庫問題に加え、観光地の土産用包装の需要が低迷。ゴム製品は、海外で事業展開している組合員の操業が大幅に落ち込み、対応に苦慮。印刷は、コロナの影響による資金繰り悪化を懸念している。
非 製 造 業	卸 売 業	卸団地は、予約キャンセルによる貸室業務の損失が甚大で、組合員からは一層の業況悪化を懸念する声も聞かれる。タイヤ卸は、雪不足により冬用タイヤの販売不振。農産物卸は、学校給食の停止・飲食店での宴会自粛等で、過去に例を見ないほどの落ち込み。水産物卸は、売上・収益ともに落ち込み、資金繰りが悪化。
	小 売 業	家電小売は、売上の3割減少に加え、商品納入が滞りぎみ。燃料小売は、販売量・販売価格が大きく落ち込み売上減少。生花小売は、繁忙期ながらイベント中止で販売不振、4月以降の更なる需要減を懸念。中古車オークションは、出品・成約台数ともに減少。商店街は、外出自粛で来街者が著しく減少し、飲食店は客足減。
	サ ー ビ ス 業	温泉旅館は、自粛要請により団体の予約キャンセルが相次ぎ売上大幅減少、今後は個人客減少を不安視している。不動産取引は、消費税増税の影響が出始める中、新型コロナによる経済停滞が重なり、今後の業況低迷を懸念。建築設計は、各方面での建築需要の減少を懸念。自動車整備は、売上・収益ともに前年並み。
	建 設 業	建設工事は、住宅建築資材の納入遅延が発生し、工期遅れの影響を懸念。電気工事は、依然として深刻なマスク不足の状況が窺える。鉄構は、人材確保が難しくなるとともに、工程の見直しも発生。解体工事は、先行き不安感はあるが、前年並みに推移。塗装工事は、年度内を工期とした工事により仕事量が増加している。
	運 輸 業	燃料価格が大幅に値下がりし、一部家庭用食料品の輸送が堅調に推移しているが、自動車・輸出入関連を中心に輸送量が大きく落ち込み、収益が悪化している。先行きについては、国内自動車メーカーの操業停止が不安材料となっている。小口配送は、卒業式などで使用する衣装の配送量が増加したが、全体的な売上は減少。